

△産業宣教 コリントとプリスキラ、アクラ夫婦(使 18:1-4)	△レムナント伝道学 レムナントの学業 (Ⅱテモ 3:14-17)	△核心 伝道、宣教のすべてのこと(使 1:8)	△散らされた弟子たち 散らされた弟子の 三つのやぐら(使 1:8)
△答え以前に参考にしなければならないこと 使 13:1-4 伝道する前 使 16:6-10 マケドニアへ行く前 使 19:1-7 ツラノ運動が起こる前 使 2:42 日曜礼拝をささげるとき準備して行くべき 使 17:1-2 三つの安息日。答えを受けることができるプランを組んだ。答えを受ける計画があるべき 使 19:8-12 3か月の間、2年間 □序論 1. 自分を生かすやぐらが最も重要。すると、教会を生かすやぐら、産業を生かすやぐら、RT を完全に生かすやぐら、一生、伝道者を生かすやぐらを建てるようになる。 2. 神様が与えられる最も大きな恵み 1) 3・9・3 のやぐらを持って 2) 7 ミッション イエスが最後に与えられた内容 3) 味わい この祝福を持っていれば、プラットフォームになって、他の人生を生かせる光を照らす見張り台となる。また、全世界 237 を疎通できるアンテナとなる。 3. 神様がなさること 1) I コリ 3:16 神様の聖霊が宿る神様の神殿 2) ビリ 2:13 神様がみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださる 3) ロマ 8:26 私たちが弱いことをご存知で、聖霊が祈って助けてくださる。 このような答えを礼拝の時ごとに受ければ、恵みを味わうようになって、人を見る目が変わる。 □本論 1. パウロとプリスキラ夫婦が会う以前 1) 使 2:10 大きな恵みを受ける場にいたプリスキラ夫婦 2) 使 9:1-15 神様がパウロを呼ばれた 3) 使 11:25-26 パウロがバルナバとの出会い 4) 使 18:1-4 パウロとプリスキラ夫婦の出会い。苦しみのように見えても神様の絶対計画 2. 伝道-産業 神様がプリスキラ夫婦に伝道のための産業を祝福された 1) 使 18:1-3 職業が同じだ。 2) 使 18:4 チームを組んで会堂へ 3) 使 18:24-28 プリスキラとアポロが会う。使 2:10 の現場の答えを伝達 3. 宣教のための産業 1) ロマ 16:3-4 同労者。いのちの危険を冒すほど伝道と宣教を助け 2) ロマ 16:25-27 大きな祝福をこの人たちが受けた □結論_適用 みなさんが受けた恵みとメッセージを適用させること。 Field(place) 応答現場と場所がなければならない。これが人生を左右する。	□序論_雰囲気 レムナントは雰囲気にとっても敏感だ。しかし、レムナントはこれより高く、深く、広くなければならない。 △Priority(タラント、天才)-レムナントはなにが優先なのかをはやく見つけ出さなければならない。学業の鍵はタラントだ。タラントは神様から与えられることだ。 □本論 1. 御座から与えられるタラントを見つけて順序を必ず守るべき 1) Trinity -三位一体の神様が与えてくださる答え 2) Throne -御座の力で私のタラントが出るべき 3) 3Ages -過去、未来の間に今日。3 時代が 3・9・3 だ。 2. 237 と合う学業が職業 1) 専門化 2) 現場化 3) 世界化を見つけることが重要だ。 △これを見つければ世界を動かすことができる。 3. 宣教と合う学業 1) 個人化 2) 福音化 3) 世界福音化 □結論_人生準備 今している勉強だけが勉強ではない。一生に人生準備をするのだ。 △2030~2080 -レムナントはこの時代の人だ。レムナントは福音を持っている 1 世代がいない時代的主役だ。レムナントが集まって安らかに何かを見つけて出す集中時代を開こうとするのだ。勉強に苦しめられないで力を受ける方法を見つければならない。タラントを見つければ終わりであるため、無条件順序を変えなければならない。	※常にすべき四つの体験 朝-<u>力</u>を受ける 3・9・3 の祈りで<u>健康</u>を見つけて出さなければならない。一番良い方法が祈りと呼吸 昼-多くの<u>祈りの課題</u>を見つけて出す祈り 夜-最も重要なことを持って集中する<u>深い祈り</u> 礼拝、賛美するとき-<u>重要なこと</u>を祈ることができる。 「伝道、宣教はすべて」であることが見える。 □序論 1. 7 つのやぐらを先に建てなさい-<u>神の国</u>(私の中に神様のやぐら)、<u>ただ</u>のやぐら、<u>地の果て</u>(時空超越する祈り)、私の <u>237</u>、祈りの<u>力</u>(裏面契約が出てくる)、正確な<u>未来</u>、<u>再臨主</u> 2. サタンのやぐらを倒しなさい(マタ 12:28-30 これができこそ事になり、神の国が成り立つ、Ⅱコリ 10:4-5 要塞を破る神様の力) 3. 捨てなさい(ガラ 2:20 私の水準と実力では生かすことができない。キリストがともにおられる)。探しなさい(7 つのやぐら)。味わいなさい(プラットフォーム、見張り台、アンテナができる) □本論 1. 伝道-すべてのこと 1) イスラエルは福音を与えられたが、福音と伝道が分らないと選民思想 2) キリストが悟れないからメシヤ思想 3) いのちがないので、維持しなければならないと律法思想に捕えられたのだ。 2. 宣教-わざわいを防ぐこと 1) イスラエルが出エジプトして荒野を通過したが、霊的にはまだサタンに奴隷、捕虜になっている。出て来なければならない。 2) それゆえ、この暗やみは 237 に広まっている。 3) 福音、伝道、宣教が分かる 0.1%の少数の人々が世界を変化させた。 3. 伝道、宣教を分かれば、すべてを回復 1) 三つの祭りの内容回復-過越祭は救い、仮庵祭は天国御座の背景、その間にあるのが五旬節だ(使 2:1) 2) みな完了したと言われたカルバリの丘、最高の契約を与えられたオリーブ山、最高の答えを受けたマルコの屋上の間によって、やぐらを建てなければならない。 3) この 3・9・3 を私が受け入れて伝達するのだ。 4) この祝福が幕屋、神殿、教会にあった(三つの庭) 5) 世界のやぐらが建つようになる。 □結論_証拠(RT、ヘブ 11、初代教会) <u>流れ</u>-神様のみことばと祈りと重要な答えの流れを握りなさい。 Change -それとともに流れを変えなさい。神様の流れに乗って、すべての現場の流れをひっくり返しなさい。	□序論 聖書にとっても重要な答えと祝福一つ、やぐらを専門的に作るチーム 1. 使 13:1-4 パウロとともにいたチーム、重要人物はバルナバ 2. 使 16:11 (私たちが) 3. 使 17:1 (彼らは) このチーム持って三つのやぐらを作りなさい □本論 1. 国内弟子今回の集会 7 ミッションが本当に定着すること 2. 世界弟子 7 ミッションが伝えられること 3. やぐらキャンプ弟子 コロ 4 章、Ⅰコリ 16 章、ロマ 16 章この人たちが、やぐらチーム □結論 一番幸せな 24 を味わいなさい。24 3・9・3 をしなさい-私たちの選択 25-神様がなさること。みなさんがいつも幸せに(24 3・9・3)味わっていれば、このように(25)神様が働かれる。永遠という作品はなくならないからだ-次世代(RT)のためにすること

2023 第 1, 2, 3 RUTC 答え 25 (17) (社)世界福音化伝道協会 www.wedarak.net		
2023 年 4 月 23 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ (第 17 週) 勝利の確信と 25 の答え (I コリ 10:13)	△聖日 1 部礼拝/宣教祝祭の主日連合礼拝 伝道者の生活 (使 1:8)	△聖日 2 部礼拝/237 宣教委員会献身礼拝 やぐらを作った 40 日 (使 1:3)
確信できないことは刻印されず、確信したことだけ刻印される。私たちは救われた者だ。 □序論 1. 救い-契約-救われた者は神様の契約を握ってたまされなければ、一生を導かれる。 2. 思い煩い-この確信なければ思い煩いが生じる。聖日は一週間勝利する最高契約を握るべきだ。 1) ヨブ 3:25 サタンは思い煩う部分を刺激する。 2) I ヨハ 4:18-19 恐れには刑罰が従う。そこに、とても恐ろしい結果が出る。 3) I ペテ 5:7-8 あなたがたの思い煩いを神様にゆだねなさい。敵である悪魔は食い尽くす者を探し回っている。 □本論 1. 契約の民-私たちは契約の民だ。 1) ヨハ 19:30 キリストが十字架で完了された。 2) I コリ 3:16 神様の聖霊が私の中に、不信者の中にはサタンの霊が臨むようになる。 3) ロマ 8:31-39 どんな強い者もキリストの手から引き離すことはできない。 4) II コリ 4:7-9 苦しめられ、途方にくれて、迫害されて、倒されても死なない。 5) I ペテ 2:9 暗やみの勢力を打ち破る王のような祭司の力を与えられた。 6) ピリ 1:9 キリストの日まで成し遂げていかれる。 △何も思い煩う必要も、人間中心主義を使う必要もない。祈りの答えが与えられれば、私たちの計画が必要なくて、神様の働きが起これば私の主張、多くの理論も必要ない。3・9・3 を味わえば良い。 2. レムナント 7 人 1) 絶対主権を信じる。 2) 絶対計画を見つければ良い。 3) 絶対契約が出てくる。 4) 答えを味わいながら行く絶対旅程が出てくる。 5) 絶対目標が出てくる。 3. 7 大旅程 1) 三位一体-生活の中に三位一体の神様がともにおられる旅程に行くようになる。 2) 10 の奥義 (反対側) -どんな状況の中でも生き残る。本当の答えは反対側にある。 3) 10 の土台 (みことば) -神様のみことばは変わらない。 4) 流れ-私たちは戦うのではなく、流れをひっくり返すのだ。 5) 確信-ここで 5 つの確信が来る。 6) 62、CVDIP 一生のこと、62 が既に出てきて、CVDIP が見える。 7) キャンプ-礼拝はキャンプだ。霊的なやぐらを建てなければならない。 □結論 1. 237 -私たちがすること、学業、産業が 237 と合うようになる。そして世界福音化する。 2. 御座-私たちの学業、産業、すべてに御座の祝福が臨む。 3. わざわい (光) -これを受けてわざわざいを止める光を照らすのだ。	□序論_宣教大会と宣教の理由 霊的問題による精神問題と事件、事故はサタンがすることであるから、宣教が絶対に必要だ。麻薬中毒、各種犯罪、うつ病、殺人、自殺、事故が続けて起きている。これから地球は精神病棟に変わるようになる。誰もこの問題は解決できない。みなさんの宣教が絶対に必要だ。 □本論_最後のミッション五つ (使 1:11) 1. 永遠の前のキリスト-その御名で各国、家系の長い間続いている運命を完全に変えてしまいなさい。各国、家系の伝統、長い間続いている暗やみ文化をキリストの御名で完全に変えなければならない。 2. 受肉されたキリスト-すべての個人、私にある霊的問題、暗やみを縛ってしまいなさい (ヨハ 1:12) 3. 復活されたキリスト-私の学業、産業に暗やみが崩れるように、今、祈りで変えてしまいなさい。私の産業、病氣、無能、すべてを今、祈りに変えてしまいなさい。主イエスの御名を呼ぶとき、働きが起こることが証拠だ。 4. 再臨主として来られるキリスト-未来に押し寄せるすべてのわざわざいを変えてしまいなさい (使 1:11) 5. さばき主として来られるキリスト-永遠のことによってやぐらを建てなさい。 △多くの人が隠している。単純に助けては何も意味がない。各国ごとにその人々の隠された長い間続いている傷がある。それをいやさなければ答えはない。個人に長い間続いている暗やみのやぐらがある。崩してしまわなければならない。今、働く復活された主イエス・キリストの御名でみなさんのすべての現場の暗やみの権威を打ち砕くのだ。未来の暗やみをキリストの御名によって、今、打ち砕くことができる。今、御座の力で世界を動かすことができる。祈りで体験してみなさい。 □結論 1. 五つの答えと体験を持って行きなさい。 1) みなさんが行く所に長い間続いた暗やみが崩れる。 2) 個人に入り込んでいる暗やみのやぐらが崩れなければならない。 3) すべての学校で、社会に入り込んでいる暗やみの文化、崩れなければならない。 4) 未来の暗やみをキリストの御名で今、砕くことができる。 5) 地獄が背景だ。助けなければならない。 △この福音を伝える宣教師でなければ世界を生かすことはできない。 2. 病氣、貧困、無能を打ち砕く祈りを始めなさい。必ず答えが来るだろう。 △なぜ私たちは神の子どもなのに、病氣、貧困、無能の中で、伝道もできないのか。私は三つをすべて砕いた。	やぐらを作った 40 日-今日から始めなさい。 □序論_基準 1. 任職を受けた人と受ける人、神殿建築を置いて祈る信徒、237 委員会 1) 三つの庭を作るのだ。 2) 1 千やぐら建てるのに参加すれば良い。 3) サミットになる祈りの答えが来ているのか △救われた人は祈っていれば答えが来るが、それについて行けば良い。 2. <u>24</u>・25・永遠が見える。 1) みことば成就 2) 祈りの答えが見える。 3) 神様の証拠が出てきて証人になる。 △これが出てくる時まで 40 日やぐら建てなさい。 3. 五力が出てくる。 1) 霊力-世の中の人々が理解することができない霊的力 2) 知力-人を生かす知恵 3) 体力-神様の働きをすることができる体力 4) 経済力-光の経済 5) 人材力-1 千万の弟子を動かす人材力 □本論_最も最初にすべきこと 1. ヨハ 19:30 <u>カルバリ体験</u> 完了した。私の過去をなくすカルバリの丘体験 1) リレー祈り 2) 聖句暗唱-宣教大会の時にした聖書箇所を暗唱しなさい。 3) 地域 (区域) - 40 日神殿建築集中祈り △すると 24、25、永遠がくる。5 力が生まれる。任職者が確実な私の一つの国が出てくる時まで訓練させなさい。 2. 使 1:3 <u>オリブ山体験</u> 1) 神の国が私に見える時まで 40 日継続しなさい。 2) ただが見える。 3) 地の果て-私の現場が決まる時まで 4) すべての信徒は 237 一つは持っていないなければならない。 5) 裏面契約-私だけが出来るミッションが出てくる。 6) 確実な未来ビジョンが出てくる時まで 7) 終末時代まで 3. 使 1:8 <u>マルコの屋上の間体験</u> 1) 5 つの時刻表 (Throne、御座から与えられるタイム)-五旬節の日 (使 2:1)、そのときに (使 2:5)、その日に (使 2:41)、ひたすら (使 2:42)、毎日 (使 2:47) 2) 5 つの力 (Authority、上から与えられる力)-風のような炎のような (使 2:2)、それぞれ自らのことばで話すこと (使 2:6)、神の大きなみわざを語るのを聞くとは (使 2:11)。3 千弟子 (使 2:41)、経済力 (使 2:43-45) 3) 5 つの門 (Door) -タラップの門 (使 2:1)、15 か国の門 (使 2:9-11)、現場の門 (使 2:41)、教会と礼拝の門 (使 2:42)、毎日家で (使 2:46-47) □結論 <u>24・25・00</u>朝には <u>3・9・3</u>を味わう祈り、昼には<u>伝達</u>、夜には<u>深く</u> <u>【答え】</u>を出して寝るのだ。 常に味わえば、上からの権威を受けるようになって、いやしが起こる。霊的サミットになる。行ってみれば答えが来ている。